



かわごえ



# 民児協だより

〔第71号〕

平成29年6月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会／川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



満開の桜の花に次の季節の到来を誇示する様な若竹の姿〈ざわめき〉

鈴木宏志 撮影

## 平成二十九年度 川越市民生委員児童委員協議会連合会総会 にあたって



川越市長  
川合善明

本日ここに、平成二十九年度川越市民生委員児童委員協議会連合会総会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域の最前線で、様々な課題に真摯に取り組んでいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、市の施策に対しても、特段の御支援と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、民生委員制度は今年、創設百周年という記念すべき年を迎えました。一世紀もの長きにわたり、脈々と受け継いでこられた信条を基に、その時々の方の要請に柔軟に対応した献身的な活動に、深く感銘を受けるとともに、こうし

た歴史ある皆様の活動により、今日の地域福祉が支えられておりますことに、改めて感謝申し上げます次第でございます。

昨年策定しました本市の地域福祉計画におきましても、『人と人とのつながりを深めだれもが自分らしくいきいきと暮らせるまち川越』を基本理念とし、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう取り組みを進めているところでありますが、常に地域の中で様々な声に耳を傾け、地域に寄り添って活動している皆様のお力が何よりも大きなものと認識しております。今後とも地域福祉の要として、引き続き御尽力いただきますようお願い申し上げます。結びに、川越市民生委員児童委員協議会連合会のみならずの御発展と、皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます御挨拶とさせていただきます。

各部会の取組紹介

生活福祉部会



会長 石 明 部会 羽 石

生活福祉部会は、部員間の融和を大切に基本三年間のスパンでとらえた学習を実施していきます。

初年度の学習目標としては、近年は人と人とのつながりが希薄化し、高齢者障害者問わず生きづらさを感じている住民が増えています。

地域住民からの相談のなかには、複雑な事情のなかで起きている問題や専門職でも対応に苦慮するような問題、思いもかけないような問題、ただ上手に会話をしたり聞き上手になるだけでは対応しきれない問題も沢山あります。

それ故に、担当地区でややもすると孤軍奮闘し、行き詰りがちになります。そんな時、仲間のいろいろな視点からの助言が大きな支えとなります。

多様化する住民の課題に対し「広い視野を持って援助ができる民生委員」そして「住民にとって一番近い相談役」として活動できる知識・情報の幅を広げるよう「制度・施策の動向」を捉えた学習を実施します。

又、各地区の実例検討会を行い、他地区の具体的な解決方法を学び応用力を各地区活動で有効に活かし、民生活動に寄与できればと思います。

児童福祉部会



会長 内 道 子 部会 矢

「児童福祉法、母子及び寡婦福祉法に基づく協力活動ならびに地域における当該福祉問題の把握と実践活動を計画、推進する。」と、民児連の部会規程にあります。部会員は、みんなでこの内容を把握し、こどもを取り巻く昨今の複雑な実情を知り、情報を共有し、意見交換を重ね、各人が対応、対策を考えられる様、諸機関の講師による学習会、視

察研修で多様なことを学んで行きたいと思っています。特に、事例発表や意見交換の際、全員が些細なこと、疑問に思っていることを自由に発言できる場にするこ

とで、全ての相談を受ける民生委員・児童委員としての資質向上に繋がるものと思っています。

また、ふれあい福祉まつりでは、部会員みんなで「割り箸てっぽう」「ペットボトルケン玉」「折り紙コマ」「牛乳パック積木」を、子供達の笑顔を想像しながら作りました。部会員が一体となれた時間でした。

今後、懇親会も企画、楽しい三年間にしたいと思っています。

主任児童委員部会



会長 橋 恒 子 部会 石

今年度の川越市主任児童委員会は、新任の委員二十三名を迎え、四十二名でスタートしました。

「健やかに児童を育成できる生活環境づくり」が社

高齢福祉部会



会長 牛 窪 宏 治 部会

会全体の課題となるなか、児童福祉に関する事項を専門的に担当する者として、主任児童委員が平成六年に誕生しました。百周年を迎える民生・児童委員制度に新しく創設された委員です。虐待、ネグレクト、いじめ、生活困窮など様々な厳しい環境に置かれるお子さん方がいます。同時に親御さんも苦しいのだと思います。そうした困っている方に何かのお手伝いができれば、と願っています。

寝入っているお子さんの明日の安らぎのために、疲れている親御さんの明日の可能性のために、お手伝い出来ることになれば、との願いをつづつたことがあります。その思いは今も変わ

りません。部会では多くの学習会を予定しています。ご縁あつて同じ目的をもって活動する者として出会えました事を大切にし、問題意識を共有して切磋琢磨することが、部会の成果につながるのでは、と思っています。どうぞよろしくお願い致します。

高齢福祉部会は経験豊富な二十二名の委員が月に一度オアシスにて会合を開いております。例年部会行事として、ふれあい福祉祭り参加、学習会として、介護予防・日常生活支援の講習、防災センター等の視察研修会を行っております。今年

は多くの委員が交代した為時間をかけた自己紹介をしっかりと行い、個々の強み弱みをお互い知り合つて、突出して増える単身高齢世帯、団塊世代の高齢化も踏まえ、対応して行きたいと思っております。私の担当地区には九十歳を過ぎてもデイサービス等には行かない！と言つて元気に「いもつ子体操」にご参加頂いている単身生活者もおります。介護に頼り過ぎず活き抜く健康寿命、更には自分の事は自分でできる！自活寿命が一番大切と思っております。このお手伝いがしっかりと

きるよう部会の方達と知恵を出し合っていきたいと思  
います。「知恵力」は六十  
歳前後から更に向上すると  
言われます。脳を若く保つ  
のは使い方次第！例えば左  
で箸を使ってみる！上手く  
出来ない！そこで右脳が動  
く、右脳が働けば創造が生  
まれる！皆様、好奇心旺盛  
に活きましよう。



長和子  
部会三  
佐藤

男女共同参画推進部会

今期も部会を担当するこ  
とになりました。

二期目となりますが、な  
かなか他の部会と異なり、  
目標が広範囲すぎて一点に  
絞れませんが三年をかけて、  
全部員がひとつになり一歩  
一歩着実に活動していきま  
いと思っております。

昨年、地区の部員の方々  
と拡大勉強会を共有でき、  
今期も開催出来るよう計画  
します。地区の部員の方々  
にも参画部会に入って良か  
ったと言って下さる様に、  
部員一同努力します。

また、埼玉県民児協の中  
で、市に男女共同参画推進  
部会があるのは川越市だけ  
です。川越市役所にも男女  
共同参画推進課があります。  
川越市にご協力をお願い  
し、勉強したいと考えてお  
ります。

今年この部員の方達は初め  
の方がほとんどです。最  
初の一年はゆつくりと、部  
会の勉強をして行こうと思  
っています。

私を始め部員一同、頑張  
り過ぎず、三年後を目指し  
て、成長出来れば良いと思  
っております。

広報部会



長正晃  
部会長  
伊東

広報部会の活動目標は、  
連合会部会規定で「社会福  
祉等に関する情報及び課題  
を提供し川越市民児連活動  
の活性化に努める」ことと  
定められています。

実務としては「かわごえ  
民児協だより」を計画内容  
に沿って、「年間三回（六  
月号、十月号、一月号）発行」

することがメインであり、  
部会員二十二名を三つの班  
に分け、班長を定め各号を  
分担して広報誌作成を進め  
ております。

各号とも記事内容の検討  
や原稿依頼、校正等で編集  
会議を各班で、複数回行う  
必要があります。

全員が集まるのは定例会  
で、部会総会、広報誌の内  
容決定や発送作業を実施す  
ることとして年間の日程計  
画を作成済みです。その他  
に、ふれあい福祉まつり、  
赤い羽根共同募金街頭活動  
等にも参加予定です。

昨年十二月の民生委員・  
児童委員一斉改選で多くの  
広報部会員が交代しました。  
前任広報部会員が問題なく  
処理していた広報部会の活  
動を、私たち新任広報部会  
員が無難に引き継げるかど  
うか、やや不安ながら活動  
を開始しております。

皆様方の理解を得て、計  
画に沿った広報誌作成を進  
めることで、部会員も成長  
したいと思っております。今  
後とも、ご協力の程、宜し  
くお願い致します。

連合会総会の講演を聞いて

・講師・

川越市社会福祉協議会  
生活支援課生活支援担当

柴 明孝氏

五月二十九日、川越市総  
合福祉センターオアシス体  
育室に於いて、平成二十九  
年度川越市民生委員児童委  
員協議会連合会総会が、一  
八三名の参加者により、滞  
りなく開催されました。

開会式には川越市長にも  
ご出席いただき、激励のお  
言葉を頂戴しました。

総会終了後、川越市生活  
支援コーディネーター（地  
域支え合い推進員）柴明孝  
氏を講師に迎え、『地域包  
括ケアシステムにおける住  
民主体の地域づくりについ  
て』～地域の支えあい・助  
け合い活動の進め方を考え  
よう!!～という、タイト  
ルの講義を受けました。

現在川越市の高齢比率は、  
六五歳以上で二十五・七%、  
七五歳以上で十一・四%。



今後、少子高齢化が進み、  
やがて、担い手不足になる  
ことが目に見えています。  
この現状をどう食い止める  
か、その対策として、川越  
市では、「地域包括ケアシ  
ステム」～地域住民に対す  
る医療・介護・福祉などの  
サービス、関係者が連携  
協力して、提供する体制～  
の構想を進め、高齢者が長  
く働ける環境づくり、その  
ための介護予防、交流の場  
や居場所作りといった地域  
の支えあい、助け合いを充  
実させていきたい。などの  
お話を伺い、地域活動の在  
り方について深く考えさせ  
られました。民生委員とし  
て、この取り組みを応援し  
ていきたいと思いました。

# ふれあい福祉まつり

第二十七回  
ふれあい福祉まつり実行委員長  
村上 まさ

地域の課題を見守り  
共に生きる 地域福祉

突然の真夏日に、木立を渡る風が爽やかな伊佐沼公園で、第二十七回ふれあい福祉まつりが開催されました。今回のキャッチフレーズは「すてきな出会い 笑顔あふれる 福祉のまつり」です。

今年には民生委員制度創設一〇〇周年、併せて五月十二日は「民生委員・児童委

員の日」です。民生委員・児童委員の皆様には、創設当初からのご参加に衷心より感謝申し上げます。恒常的に高齢者世帯の見守り訪問をはじめ、会食会や配食サービス、体操教室やサロンなどの集いの場づくり、加えて子育て相談や学校との連絡会議等、地域福祉の重要な担い手としてご活躍です。

ふれあい福祉まつりでは、今年も各部会がそれぞれ特色のある企画で参加ください。末尾ながら、ご支援ご協力に厚くお礼を申し上げます。

り、共に生きる福祉のまちづくりを旨とし今回も皆様のお力で成功裏に終わりました。



## 地域の活動紹介

### 福原地区

#### いもっ子体操

武蔵町自治会

会長 花木三千男

平成二十六年福原地区武蔵町自治会では、地域包括支援センターみずほさんに協力をいただき、高齢者の健康管理を目的とした講座「いもっ子体操教室」を十一月・十二月・一月合わせて六回開催いたしました。参加者の評判も良く、次年度より月二回、自治会が主催し、二年目が経過する中で、現在では自主的に資格を取得した六名のサポーターを中心に三十名以上の方が、水分補給の為の飲み物を持参で長谷川次子講師の下で、いもっ子体操の他、口腔体操・棒体操・演歌のCDを使用しているなど幅広く行っています。

また、城南中央病院への病院訪問や後藤邦宣院長に健康管理についての話を聞くなど、いもっ子体操と合わせて定期的に行っています。



す。

このように、自治会が場を提供する事で参加者が家に閉じこもりがちな人を誘い、みんなで体操する事で自然と笑顔が増え、親睦を兼ねた食事をするなど、楽しくコミュニケーションを図っています。自治会員の高齢化が進む中、一人でも多くの方に参加していただき、参加者が豊かなシルバライフを過ごす事が自治会の活性化に繋がると考え、その一助となるよう今後も取り込んでいきたいと思っています。

新役員紹介

会長	高階 芝波田静香
副会長	名細 深川 達也
理事	第一 金子 眞弓
理事	第二 神山 初江
理事	第三 三島 晴代
理事	第四 水村富美子
理事	第五 神田みづゑ
理事	第六 菊田 洋子
理事	第七 川原 英子
理事	第八 貫井 壽子
理事	第九 矢澤 千春
理事	第十 岡部 稔
理事	第十一 南古谷 紀子
理事	第十二 大東 幸次
理事	第十三 霞ヶ関 厚郎
理事	第十四 霞ヶ関 中島眞利子
理事	第十五 山田 藤崎 昇
理事	第十六 川鶴 市川富美子
理事	第十七 芳野 田中 節子
理事	第十八 芳野 島田寿美江
生活福祉部会	第八 羽石 明
児童福祉部会	第二 矢内 道子
主任児童委員部会	霞ヶ関北 石橋 恒子
高齢福祉部会	高階 牛窪 宏治
男女共同参画推進部会	第三 佐藤三和子
広報部会	山田 伊東 正晃

生きがい訪問

● 第三地区 ●

斉藤ケイ子さん



今年の夏で、八十一歳になる私です。子供達も育ち、何か身体のために始めたのが太極拳です。激しく身体を動かす演武ではないので長く続けていられるのだと思います。今年で十五年になります。途中、フオークダンス、グラウンドゴルフ、「今成健康体操」では、芋っこ体操の他に、お口の体操に歌も歌います。懐かし



い曲ばかりで歌っている時はとても楽しいひと時です。そのほかに、中央公民館で料理も習っています。この春には、桜餅など、季節に合った料理を、皆で話し合っただけです。出来上がった、料理をみんなで、和気あいあいと世間話をしながら、食べて帰ります。お腹も心もホッコリ。

以前、何処かで聞いた話ですが、男性は趣味を持つ事、女性は人と会って話す事が健やかに長生きできる秘訣との事です。私の愛車は自転車です。自転車で行ける範囲の所までと決めています。これからは元気でいる為にコツコツ続けて行こうと思います。何時まで出来る。かな？

「頑張ります。」

● 第十一地区 ●

高橋りょうさん



「元氣印」友人たちが七

十を過ぎてても早足で歩き回っている私につけたあだ名です。

実はこういう性格になったのには訳があります。二五歳の時、事故で夫を亡くし、当時五か月と二歳半の子供を抱え悲しんでいる暇はなく、二人の子供を育てるために働かざるを得ませんでした。

川越には昭和四十九年に越してきました。その年から三年間、臨床検査技師の資格を取るために昼は病院で働き、夜は専門学校に通いました。仕事と子育て、学生という一人三役で睡眠時間は数時間しか取れない日々でした。私の気迫に病気が逃げたようだったので風邪一つひくこともありませんでした。今思うと、

我ながらすごいパワーだったと感心します。当時四年生と二年生だった二人の応援があったから乗り切れたのだと思います。こうして定年を迎え、少し時間ができたのを機に団地の役員として皆さんのお手伝いもしてきました。



「元氣印」と言われている私ですが、五本の指では数えきれない程たくさん病気が命に係わる大病もありましたが臨床検査技師という仕事柄か「おかし」と思ったら即病院に行く」を心掛け、幸い早期発見早期治療で今日があります。

嬉しいことに昨年、ひ孫に恵まれました。長生きしていつまでもかわいい笑顔を見守っていたいと思ひ、少しセーブし通っていたスイミングも止め、休養をとることにしました。今は、仲間と一緒に自然の中でノルディックウォーキングを楽しんでいます。

地区民児協だより

古谷地区

岡部 稔

古谷地区は、川越の東に位置し、地区の中央に国道十六号線が走っています。南にはJR埼京線、北に伊佐沼（花火大会の会場）です。また荒川を挟んでさいたま市が隣接しています。

古谷地区は、十九地域から構成され、田園風景と集合住宅が点在、田園が広がる地域では、古くから続く祭事が数多くあります。その中でも古尾谷八幡神社で九月に実施される、子供が主役の「ほろかけ祭」がよく知られています。人口は増減の少ない地域と最近急



増してきている地域が混在

しています、総人口は一〇、九三七、世帯数四、三七八、高齢化率二八、二%と高い数値です、高齢化への対応の拡大が、必要な地域となっています。民生・児童委員十三名（男性五名含む）、主任児童委員二名の計十五名で活動します。（欠員なし）定例会は毎月第二木曜日、十四時から実施しています。会長自らの手書きで、「熱くまとめられている議題」に沿って進めています。

1、今後予定されている事業、研修、会議等の内容を全員で確認したり、参加希望者を募ったりしています。

2、各部会メンバーからの活動状況、他地区のトピックスなど報告を受け、部会の状況を知ると同時に支援しています。

3、その他では、諸々の手続き状況、次回当番日と担当の確認など情報交換し活動に役立てています。

活動内容は、日常、一人暮らし高齢者へ家庭訪問（二回/月）、食事会案内配布等を通じて安否確認をし



ています。なお、食事は全て手作りです。「和食のフルコース」です。接待役は男性もエプロン姿に三角巾、この姿も料理同様に好評です。これらの活動は、ボランティアグループの成美会と協賛して毎月一回実施しています。

年間では、関連事業の世代間交流ランドゴルフ大会、親子凧揚げ大会などに参加協力し、積極的に地域交流に取り組み、年二回の合同視察研修の機会を活用して、新しい取り組みを見出し、活動に結びつけられる部分を話し合い、地区の特徴を活かしながら、人々との繋がりを深めていく活動を進めていきたいと思っています。

主な民児連関連活動日誌

- 六月五日 理事会
- 七月三日 全員研修会
- 七月四日 県民児協・西部ブロック民児協会長連絡会議
- 七月九日・十日 全国民生委員児童委員大会
- 七月十二日 県民児協・理事会
- 七月二十八日 県民児協・評議委員会
- 七月三十一日 理事会
- 九月四日 理事会
- 九月七日 県民児協・制度創設百周年記念埼玉県民生委員・児童委員大会

お詫びと訂正

第七十号に誤った記載がありましたので、お詫びし訂正します。  
一頁、四月二は、四月に、近隣同心は、近隣同志です。四頁、環境づくりは、環境づくりです。

時の鐘

七十一号のために第一回の編集会議を開いたのは、まだ、梅の花の便りを聞くような季節でしたが、やがて桜、さらに新緑の時を経て、今や田に稲の緑が揃っています。ここで、「民児協だより七十一号」ができました。民生委員の改選で、編集のメンバーも新しくなり、不慣れな人もいたのですが、何人かの経験者の先導のお陰で、何とかこまごまつけました。

内容的には、改選後、新たな出発に当たっての号なので、各部の活動の紹介・部長長さんの抱負等の記事に、多く、頁をとりました。各自の活動に、何らかの形で参考にして頂けたら嬉しく思います。

七十一号の編集者担当は、山本千恵子、助川和江、急式悦子、増田佳子、渡辺耕造、早川邦江、山岸富子の七名です。

